



小規模校の思い出

校長 芳野 妙美

木々の緑を揺らすさわやかな風が、心地よい季節になりました。楽しいゴールデンウィークを過ごした浅海っ子たち、笑顔一杯で学校に戻ってきました。5月の子どもたちの活躍が楽しみです！

私の長い教員生活で、「小規模校」への赴任は四度目となります。どの学校においても地域の特性を活かした特色ある活動が行われ、たくさんの思い出があります。

山里の学校では、冬場は雪に悩まされました。一晩で30cmも積もることがありましたが、登校してきた子どもたちが、教員住宅から学校の玄関まで(100mくらいあったと思います)雪かきをしてくれるのです。そのありがたさは今でも忘れられません。雪深いことは不便なことばかりではありません。子どもたちと雪だるまを作ったり、雪合戦したり、当時の校長先生が雪を固めて台を作り、そり滑りができるようにして下さったこともあります。地域の史跡や遺物を調査するために、雪降る中地域を巡り歩いたことも懐かしい思い出です。

また、椎茸の原木に菌を植えついたり、裏山で取った筍や炭焼き小屋で作った炭を農協に売りに行ったり、…。さらには、お父さん方が竹を切って作った「そうめん流し」コーナーを堪能することもできました。学校の近くの川で鮎の放流をしたことも貴重な体験です。

地域のお祭りでは、子どもたちが育てた桜草の苗や手作りの小物を販売したこともあります。子どもたちの「いらっしやい、いらっしやい」というかわいらしい呼び込みの声で、たくさんのお客が立ち寄って下さいました。

思い出されるのは、町中では体験できない活動ばかりです。少人数の子どもたちと保護者の方、地域の方とのつながりなど、ここに書ききれないほどの思い出が私の教員生活の宝物・財産となっています。

3月末に浅海小学校に初めて来たときには、フラワーランドの満開の桜が迎えてくれたことを思い出します。また、黒川前校長先生に校舎を案内していただいたときには、窓から穏やかな春の海を一望することができ、心が洗われるようでした。この豊かな自然の中での浅海小学校の教育活動に、期待を高めています。山里の学校の経験が多かった私にとって、「海」の活動は初めてです。全校で取り組む「浅海オレンジタイム」を心待ちにしています。



「がっこうたんけん」で1年生からもらった名刺です。とても丁寧に作っていて驚きました。すてきな名刺をありがとう！

さあ、新しいスタートだ！～写真で綴る浅海小、この1か月～



入学式。1年生は、お家の方と一緒に記念撮影。新しい生活のスタートです。



縦割り班結成式。全校が縦割りで4班に分かれ、1年間いろいろな活動を行います。



1年生は給食がスタート。みんなで協力して運搬、配膳にも取り組んでいます。



昼休み。1年生から6年生まで、全校で仲良く遊べるところが浅海のおよさですね。



フラワーランドにて、記念撮影。今年度は、全校児童31名です。

郷土クラブ、新メンバーで伝統の技を披露！

4月29日(日)、明見神社の春祭りに、「郷土クラブ」が新しいメンバーで出演しました。初舞台にドキドキしながらも、精一杯心を込めて獅子舞と金時を演じました。地域の方からの声援を励みに、今後も一人一人が歴史と伝統を引き継いでいく気持ち強くすることができました。



- ① ホームページ、新しくなって公開中！ 1日**120アクセス**が目標！ ぜひご覧ください！
2月にリニューアルし、より見やすくなりました！「[浅海小学校 学校公式サイト](#)」で検索してください。
- ② アルミ缶回収を行っています！ 地域の方の持ち込みのご協力をお願いしています！
毎週木曜日の朝に、環境福祉委員がアルミ缶回収を行っています。よろしくお願いいたします。